

■起業家甲子園出場者の基本的な選抜基準

連携イベントにおいて「NICT賞」（起業家甲子園出場権）を付与するにあたっての基本方針（＝起業家甲子園出場者の基本的な選抜基準）は、以下のとおりとする。

1 選抜の対象

- ① ICT を利活用したビジネスプランを発表したチームであること。
- ② 中学生から大学院生までの生徒・学生で構成されるチームであること。
- ③ 原則として、チームのメンバー全員が30歳未満であること。
- ④ 地域の特色を生かしたビジネスプランを発表したチームであること。
- ⑤ これまでに「起業家甲子園」への出場経験のあるメンバーで構成されるチームは、選抜の対象外とする。ただし、当該チームに新規のメンバーが参画し、かつ、過去に「起業家甲子園」で発表したビジネスプランから大幅に進捗していると判断される場合においては、この限りでない。
- ⑥ 発表時点で最低限でもプロトタイプレベルの実装済みであることが望ましいが、起業の有無は問わない。

2 審査（選抜）の視点

NICTのICTメンター又は事務局が連携大会等に出場する生徒・学生の中から、「起業家甲子園」への出場を前提として、以下のNICT独自の視点で審査を行い、「NICT賞」（起業家甲子園出場権）を付与する。

<NICT独自の視点（基本的選抜ポイント）>

【大前提】ICTを利活用した自分のアイディアを形にして世の中に広めていきたい、自分の技術を活用して世の中に広めていきたいという意欲がある。

- ① 経営（代表）者が人として魅力的か、意志力・伸びしろはあるか
- ② 魅力的な事業領域か（市場の規模は大きいのか、成長が期待できるか、将来的にグローバルにスケールできる見込みがあるか）
- ③ 勝てる戦略か（独自技術・アイディアがあるか、事業計画に実現可能性があるか）
- ④ 地域の「特色」「課題」（自地域が抱える課題を理解しているか）、「シーズ（ディープテック領域等）」のいずれかを活用したビジネスか

以上